

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 401 事業名 乳幼児健康診査事業(3歳児)

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		母子衛生費	
	大事業		母子衛生事業	
事項		乳幼児健康診査事業(3歳児)		

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	2	健康づくりの推進
取組	3	母子保健対策の推進

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間	永年	～	
関連個別計画	地域保健医療計画、次世代育成支援行動計画		
担当課・担当課長 (Tel)	地域保健課	加藤智康 (433-2261)	
関連課			

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実		
市民の健康環境の充実	○	道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実		
総合的な子育て環境の充実	○	総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実		
その他		その他		その他		

1 事業概要及び実施内容

事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か		事業内容					
事業概要	3歳児に対し、身体面および精神発達面の健康診査を実施し、保育者に対して適正な指導および措置を行うことにより、幼児の健全な育成を期する。		3歳児健康診査 小児科医師、耳鼻科医師、歯科医師、発達相談員、保健師、栄養士、歯科衛生士等により総合的健康診査を実施し、その結果に基づき適切な指導及び措置を行う。 内容 問診、身体測定、小児科診察、ティンパノ検査、耳鼻科診察、歯科診察、視力・聴覚アンケートチェック、検尿、発達相談、個別保健指導 通知については、毎月1日時点の住民票データに基づき、問診票等とあわせて封書で送付している。実施場所は各保健センター。				
	実施内容	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
・3歳児健康診査実施 医師及び歯科医師による健康診査を実施するとともに、保健指導及び栄養指導、歯科保健指導を行う。必要があれば発達相談、耳鼻科医師による健康診査も実施する。 ①対象 3,048名 ②実施回数 58回 ③受診者数 2,713名		・3歳児健康診査実施 医師及び歯科医師による健康診査を実施するとともに、保健指導及び栄養指導、歯科保健指導を行う。必要があれば発達相談、耳鼻科医師による健康診査も実施する。 ①対象 3,014名 ②実施回数 60回 ③受診者数 2,727名	・3歳児健康診査実施 医師及び歯科医師による健康診査を実施するとともに、保健指導及び栄養指導、歯科保健指導を行う。必要があれば発達相談、耳鼻科医師による健康診査も実施する。 ①対象 3,151名 ②実施回数 71回 ③受診者数 2,843名				

2 事業コスト

事業費 千円	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
	事業費	9,169	8,737	9,169	8,359	10,570	9,454	10,918			
	伸び率 (%)	-	-	0.0%		15.3%		3.3%			-100.0%
	人件費	常勤職員	13,237	14,429	13,237	22,983	22,983	29,111	22,983		
		非常勤職員	1,343	1,343	1,343	1,211	1,211	1,187	1,211		
		小計	14,580	15,772	14,580	24,194	24,194	30,298	24,194		
	国庫支出金										
	県支出金										
	市債										
その他											
一般財源(税等)	9,169	8,737	9,169	8,359	10,570	9,454	10,918				
所要人数	常勤職員	1.73	1.88	1.73	3.04	3.04	3.85	3.04			
	非常勤職員	0.54	0.54	0.54	0.48	0.48	0.47	0.48			

3 目標及び実績

指標名及び達成状況						平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
活動指標	健診実施回数	年度目標値				60	60	71	72	72
		実績値				58	60	71		
	単位	回	全体目標値	71	全体目標達成度	100.0%	年度別達成度			
							96.7%	100.0%	100.0%	
成果指標	健診受診率	年度目標値				100	100	100	100	100
		実績値				89	90.4	90.2		
	単位		全体目標値		全体目標達成度	89.0%	年度別達成度			
							89.0%	90.4%	90.2%	
安心して育児ができていない人の割合	年度目標値	年度目標値				69	71	73	75	
		実績値				66	62	65.8		
	単位	%	全体目標値	100	全体目標達成度	90.2%	年度別達成度			
							95.7%	86.6%	90.1%	
年度別達成度										

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載)
	B 見直しのうえで継続 C 終了 D 休止 E 廃止	B 2 コスト削減・成果上昇 B 3 類似事業との統合 B 4 外部委託導入・拡大 B 5 受益者負担の適正化 B 6 終期設定 B 7 その他効率化	

A

担当課評価の根拠	身体発育及び精神発達面から最も重要な時期である3歳児に対して、小児科医師、耳鼻咽喉科医師、歯科医師、発達相談員、保健師、栄養士、歯科衛生士等による総合的健康診査を実施し適切な指導及び措置を行うことは、母性又は幼児の健康の保持・増進を図る上で大変重要であると思われる。
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	